

華麗なる

ギャツビー

THE
GREAT
GATSBY

70mm



富と名声を得、愛に挑んだとき青春は崩れはじめた
ひたすらな優しさゆえの悲劇、ギャツビーその華麗な愛の世界！

〈風と共に去りぬ〉以来のアメリカ文学史上最高のベストセラー原作映画化！ G G ルック旋風を巻き起して華麗に登場！

ロバート・レッドフォード
ミア・ファロー
ブルース・ダーン／カレン・ブラック
監督 ジャック・クレイトン／製作 デビッド・メリック

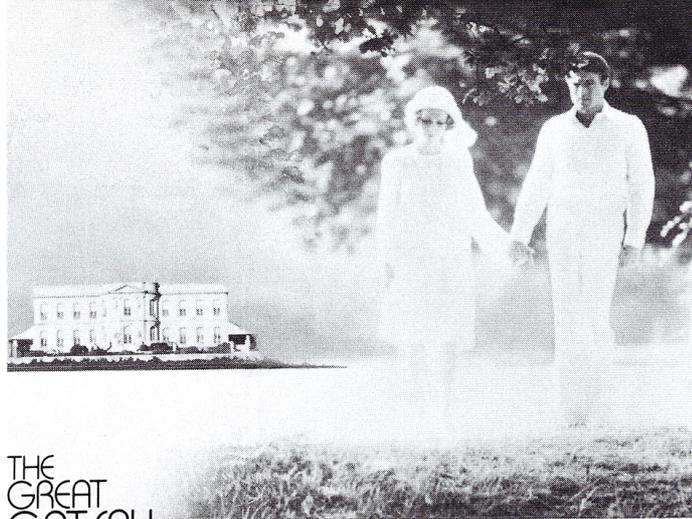
ヘカテ作 原案作 スコット・フィッツジェラルド 脚色 フランシス・フォード・コッポラ 音楽監督 ネルソン・リドル 衣裳デザイナー ヴァレリッジ
原作 角川文庫 講談社文庫 新潮文庫 早川文庫 刊 中央公論社 集英社 角川文庫 角川書店

ハラマウント映画 / CIC 配給



■解説

パラマウント映画が「ある愛の詩」「ゴッドファーザー」に次ぐ超大作として完成した話題の映画の登場。原作はアメリカの代表作家、F・スコット・フィッツジェラルドの同名小説で、二つの大戦には含まれた一九二〇年代のアメリカの精神的混乱を、上流階級に出入りする



THE GREAT GATSBY

スタッフ

製作……デビッド・メリック
監督……ジャック・クレイトン
原案……フランシス・フォード・コッポラ
脚本……F・スコット・フィッツジェラルド
撮影……ダグラス・スローカム
音楽……ネルソン・リドル
衣裳……テオニ・V・アルドリッ

キャスト

ジェイ・ギャツビー……ロバート・レッドフォード
デイジー・ビュカナン……ミア・ファロー
トム・ビュカナン……ブルース・ダーン
マートル・ウイilson……カレン・ブラック
ジョージ・ウイilson……スコット・ウイilson
ニック・キャラウェイ……サム・ウォーターストン
ジョーダン・ペーカー……ロイス・チャイルス

華麗なるギャツビー

若者たちの生き方を通して描いた作品である。映画は、その主人公ギャツビーの華麗にして悲劇的な半生を、ロマンチズム溢れるタッチで描き出している。製作はプロードウエー屈指のプロデューサー、デビッド・メリックが初めて映画界に進出。勝負師といわれるにふさわしい度胸と自信で、スタッフ、キャストの人選に当たった結果、監督は「年上の女」でイギリス映画界の常識を破ったジャック・クレイトンで、

■華麗な画面と楽しい音楽

原作がアメリカ文学の代表作というおもしろさに加えて、この映画のもう一つの魅力は、見事に再現された一九二〇年代のファッションと音楽にある。音楽監督のネルソン・リドルが選んだ当時のアメリカを象徴するチャールストン・リズムの有名曲やアービング・バーリン、ジェローム・カーンらが当時ヒットさせたセンチメンタルなバラードなど14曲に及ぶ佳曲が今日の耳に意外な新鮮さを与えてくれます。なかでも、「ヒロイン、デイジーのテーマでバーリンの「ホアル・アイドゥ」はとくに印象にのこります。(音楽評論家 野口久光)

オリジナル・サウンドトラック盤パラマウントレコード

脚色は、「ゴッドファーザー」の実績をかわれてフランシス・フォード・コッポラが担当。撮影は「ジーザス・クライスト スーパースター」の名手ダグラス・スローカム、そして甘美なメロデーは、フランク・シナトラのアレنجジャーとしても名高いネルソン・リドルが当時の音楽を採用、自ら編曲と作曲も担当している。また、「G・G ルック」として世界中に一大旋風を巻き起こしたファッシュョンは舞台衣裳デザイナー、テオニ・V・アルドリッジが当たった。

主演は、三〇年代ものに連続出演のロバート・レッドフォード(「追憶」「ステイキング」と、「フォロー・ミー」のミア・ファロー。他に「ファイブ・アイジー・ピーセス」のカレン・ブラック、「冷血」のスコット・ウイilson、ブルース・ダーンなどが脇を固めている。

■物語

一九二〇年代のアメリカ。ニューヨーク郊外のロングアイランドに豪華な邸宅を構えるジェイ・ギャツビー(ロバート・レッドフォード)は、夜毎のようにパーティーを催していた。彼の身分について招待されている上流階級の人々は、勝手な噂を流していた。それはギャツビーがこんな大金持になつたのは、密輸や、スパイ、殺人など法に逆く行為の末だというのだった。

隣に住むニック・キャラウェイ(サム・ウォーターストン)は、数度のパーティーに招待されて、徐々に彼の秘密を知るようになった。北ダコタの農家に生まれた彼は、17才のとき鉱山成金に拾われて身を粉にして働き、第一次大戦に参加した。陸軍少尉となつたギャツビーは、ルイビル

のキャンプにいる時、その町に住むデイジー(ミア・ファロー)と知り合った。軍人仲間(マドンナ)だったデイジーとギャツビーは、互に心をひかされ、激しい恋におちた。だがギャツビーは、軍の命令でフランス戦線へ派遣されてしまった。そのころのことをニックは知らなかったが、デイジーとニックは遠い親戚の間柄だった。

ギャツビーがフランスへ発つたあと、デイジーは彼の心も知らず、シカゴの富豪トム・ビュカナン(ブルース・ダーン)と結婚した。トムとニックは、エール大学での級友だった。数年後、戦線から戻つたギャツビーは、自分の青春を賭けて愛したデイジーが、結婚したことを知って苦しむ。しかも彼女の生活はギャツビーの手の届かない上流階級にあり、社交界の花形として、快楽の日々を過していた。ギャツビーは、再びデイジーの心をとり返す決意を固めた。

五年の後、ギャツビーは、ロングアイランドに大邸宅を構えた。そこは、デイジーの邸と湾をへだてていた。ギャツビーはそこで、夜毎のようにお伽話めいたパーティーを開いた。当然、社交界の話題はギャツビーに集中した。こうして二人はニックの仲介を得て再会したが、デイジーはギャツビーの心を知つて悩んだ。

だが、ある日ギャツビーとデイジーの乗つた車が、皮肉にもトムの情婦マートル(カレン・ブラック)をはねてしまった。そうとは知らないマートルの夫ウイilson(スコットウイilson)は、妻の仇とギャツビーの邸をつきとめ、ギャツビーを射殺すると、自らも死んでしまうのだった。

華麗なる話題を呼んで... 8月10(土)より中部地区独占ロードショー

▶ 凄い評判! 前売中

■ 大人 当日1000円を850円
■ 学生 当日 850円を700円

名鉄東宝
メルサ6階 TEL 582 5855